

総務委員会 情報連絡

令和4年6月24日

情報連絡事項	頁
1 あだち虹色寄附 令和3年度の実績報告について	2
2 令和4年全国広報コンクールの結果について	5
3 「あだち安心電話」の発信訓練の結果について	7
4 令和3年度区内六大学との連携事業一覧について	11

【参考】《子ども・子育て支援対策調査特別委員会 報告事項》

※資料は、子ども・子育て支援対策調査特別委員会（政策経営部）の報告資料にあり

- 1 青少年実態調査の結果および今後の方針について
- 2 あだち若者サポートテラス（SODA）の開設について

【参考】《エリアデザイン調査特別委員会 報告事項》

※資料は、エリアデザイン調査特別委員会（政策経営部）の報告資料にあり

- 1 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 2 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（北綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 3 花畑エリアデザインの取組み状況について
- 4 江北エリアデザインの取組み状況について
- 5 六町エリアデザインの取組み状況について
- 6 千住エリアデザインの取組み状況について
- 7 竹の塚エリアデザインの取組み状況について
- 8 西新井・梅島エリアデザインの取組み状況について

（ 政策経営部 ）

総務委員会情報連絡

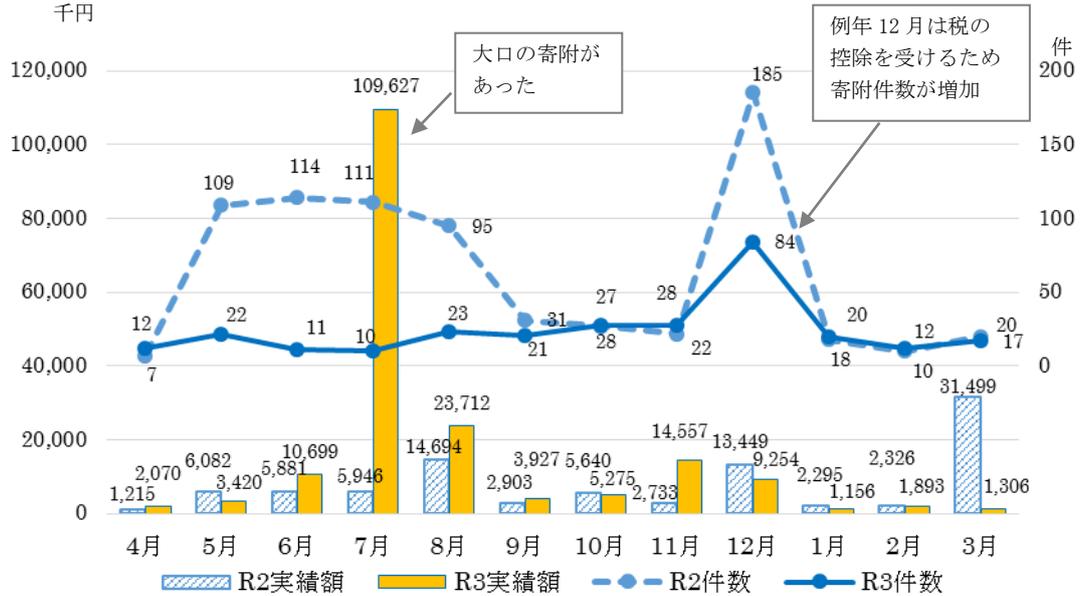
令和4年6月24日

件名	あだち虹色寄附 令和3年度の実績報告について																														
所管部課名	政策経営部 財政課、あだち未来支援室 協働・協創推進課																														
内 容	<p>1 あだち虹色寄附の令和3年度実績 あだち虹色寄附の令和3年度実績について下表のとおり報告する。 ※あだち虹色寄附制度：寄附（ふるさと納税を含む）の使い道を選んで区の事業に反映させる制度</p> <p>(1) 虹色寄附実績一覧</p>																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">年間実績</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>実績額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>実績額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">あだち虹色寄附</td> <td>749件</td> <td>94,663</td> <td>288件 (△461)</td> <td>186,896 (+92,233)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内 訳</td> <td>個人分 (ふるさと納税)</td> <td>657件</td> <td>63,472</td> <td>219件 (△438)</td> <td>139,192 (+75,720)</td> </tr> <tr> <td>企業・団体分</td> <td>92件</td> <td>31,192</td> <td>69件 (△23)</td> <td>47,704 (+16,512)</td> </tr> </tbody> </table>				年間実績		令和2年度		令和3年度		件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)	あだち虹色寄附		749件	94,663	288件 (△461)	186,896 (+92,233)	内 訳	個人分 (ふるさと納税)	657件	63,472	219件 (△438)	139,192 (+75,720)	企業・団体分	92件	31,192	69件 (△23)	47,704 (+16,512)
	年間実績		令和2年度				令和3年度																								
			件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)																									
あだち虹色寄附		749件	94,663	288件 (△461)	186,896 (+92,233)																										
内 訳	個人分 (ふるさと納税)	657件	63,472	219件 (△438)	139,192 (+75,720)																										
	企業・団体分	92件	31,192	69件 (△23)	47,704 (+16,512)																										
<p>※（ ）は前年度との差</p>																															
<p>令和2年度と比較して、件数は減少しているが、寄附額については大幅に増加している。</p>																															
<p>(2) 寄附実績の増減要因</p> <p>ア 寄附件数の減については、以下の要因が考えられる。 令和2年度は国から支給された特別定額給付金をコロナ対策応援（医療従事者支援）のふるさと納税に充てる方が多かったが、令和3年度には落ち着いたため。</p> <p>イ 寄附金額の増については、以下の要因が考えられる。 令和3年3月にあだち子どもの未来応援基金を新設したことにより、個人からの大口の寄附が集まったため。</p>																															

(3) 寄附の受入実績

寄附の使い道 ※ () は基金名		令和2年度		令和3年度		
		件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)	
あ だ ち 虹 色 寄 附	1 緑の保全・維持管理活動 (緑の基金)	171 件	4,793	29 件	1,703	
	2 育英資金貸付などの進 学支援 (育英資金積立基金)	47 件	7,004	41 件	7,044	
	3 特別養護老人ホーム等 の整備 (地域福祉振興基金)	10 件	29,642	12 件	800	
	4 大学病院施設整備 (大学病院施設等整備基金)	6 件	460	3 件	650	
	5 ボランティア・NPO 活動支援 (協働・協創パートナー基金)	33 件	2,806	21 件	1,412	
	6 文化芸術振興活動の支 援 (文化芸術振興基金)	8 件	260	9 件	200	
	7 環境保全活動の支援 (環境基金)	1 件	50	3 件	280	
	8 子ども食堂・児童養護 施設築立ち支援 (あだち子どもの未来応援 基金)	3 件	2,030	91 件	134,067	
	9 コ ロ ナ 対 策	医療従事者支援	406 件	32,602	50 件	3,703
		中小事業者支援	50 件	2,435	10 件	443
10	その他の寄附	14 件	12,581	19 件	36,595	
合 計		749 件	94,663	288 件	186,896	

(4) 月別実績



(5) 返礼品実績

返礼品	令和2年度実績数	令和3年度実績数
【工業連合会】ランドセル	3 個	4 個
【伝統工芸】東京銀器 ぐいのみ	2 個	8 個
【伝統工芸】東京手植えブラシ 洋服ブラシ	26 個	19 個
【足立ブランド認定】 クロコダイヤルキーホルダー	7 個	7 個
【伝統工芸】江戸刺繍 ペーパーウエイト	0 個	2 個
【伝統工芸】江戸刺繍 バックハンガー	1 個	1 個
あだち菜うどん&パスタ 満腹8食セット	2 セット	19 セット
あだち菜うどん&パスタ お試し2食セット	34 セット	43 セット
区内3施設ペア招待券セット (郷土博物館・生物園・ギャラクシティ)	2 セット	1 セット
オリジナルピンバッチセット (チャップン・ミリー・ドリー・リリー)	4 セット	4 セット
合計	81 個	108 個

問題点
今後の方針

コロナ対策応援寄附金は令和4年度も受け入れを継続する。
寄附の受け入れ金額の増をめざし、ふるさと納税返礼品の拡充に向けて提供事業者を募集し、返礼品を充実させていく。また、特別区民税の流出防止のため、寄附受入メニューの拡充を図る。

総務委員会情報連絡

令和4年6月24日

件名	令和4年全国広報コンクールの結果について
所管部課名	政策経営部 報道広報課
内容	<p>令和4年全国広報コンクールにおいて、下記の成績を収めたので報告する。</p> <p>1 映像部門 「Deaf デフ ー手話という言の葉ー」</p> <p>(1) 受賞内容 全国入選2席（全体3位）、読売新聞社賞</p> <p>(2) 経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度東京都広報コンクールにおいて最優秀を受賞し、東京都から全国広報コンクールに推薦された。 全国から45点の出品があり、特選1点、入選1席から3席各1点、入選6点、佳作1点の合計11点が選ばれ、足立区の作品は入選2席（全体3位）に選出された。 あわせて読売新聞社賞をダブル受賞した。   <p>※番組の一部 （出演していただいた、ろう者の藤林氏と家族、調理指導を受ける生徒）</p>

2 広報企画

おかげさまで10周年

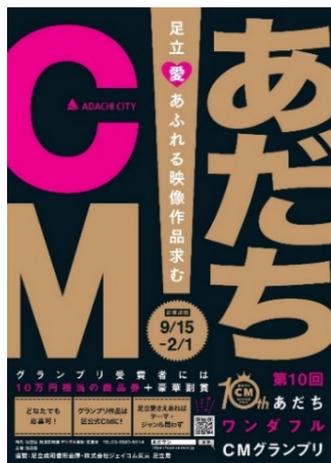
第10回 あだちワンダフルCMグランプリ

(1) 受賞内容

入選

(2) 経緯

- ・平成23（2011）年度から、区民参加型の映像コンテストとしてスタートし、10周年を迎えた。
- ・当初20作品前後の応募数から始まり、第10回は62作品まで増加。
- ・グランプリ受賞者の中には、映像業界で活躍する映画監督やクリエイターが多数存在。
- ・4年前から区立東綾瀬小学校の児童も授業で制作し、応募。
- ・撮影場所を無償で貸していただく「応援サポーター」も、区内企業や団体、施設など15団体が協力。
- ・全国86点の出品があり、特選1点、入選6点の合計7点が選ばれ、足立区の作品は入選に選出された。



第10回リーフレット



第10回グランプリ作品「足立区の公園を歩く。」

問題点
今後の方針

今後もあらゆる情報発信媒体を活用し、区内外に足立区の魅力をPRしていく。

総務委員会情報連絡

令和4年6月24日

件名	「あだち安心電話」の発信訓練の結果について
所管部課名	政策経営部 報道広報課
内容	<p>河川の氾濫などによる水害が発生する恐れがある場合に、水位の状況や避難に関する情報を、登録された電話番号に自動音声で発信する「あだち安心電話」の発信訓練を実施した。</p> <p>1 訓練目的</p> <p>(1) 河川水位の上昇時に電話がかかってくることを日頃から意識してもらう。</p> <p>(2) 登録されている電話番号に正確に発信されるか確認する。</p> <p>2 発信内容</p> <p>水害発生への恐れがある場合に、あだち安心電話から避難情報等を発信する旨のお知らせ</p> <p>3 対象者、実施地区および日時</p> <p>下記実施地区であだち安心電話に登録している方</p> <p>(1) 千住南部町会・自治会連合会 (千住宮元町、千住橋戸町、千住桜木、千住河原町、千住仲町、千住緑町、千住中居町、千住龍田町) 1,016件 5月23日(月)午後3時から発信</p> <p>(2) 第七地区町会連合会 (関原、本木、西新井栄町一丁目の一部、西新井本町五丁目の一部) 764件 5月30日(月)午後3時から発信</p> <p>4 訓練経過および結果</p> <p>(1) 千住南部町会・自治会連合会</p> <p>ア 経過</p> <p>午後3時00分00秒 1,016件に一斉発信 午後3時20分52秒 発信終了(1.23秒/一件当たり)</p>

イ 結果

(ア) 電話がつながった件数

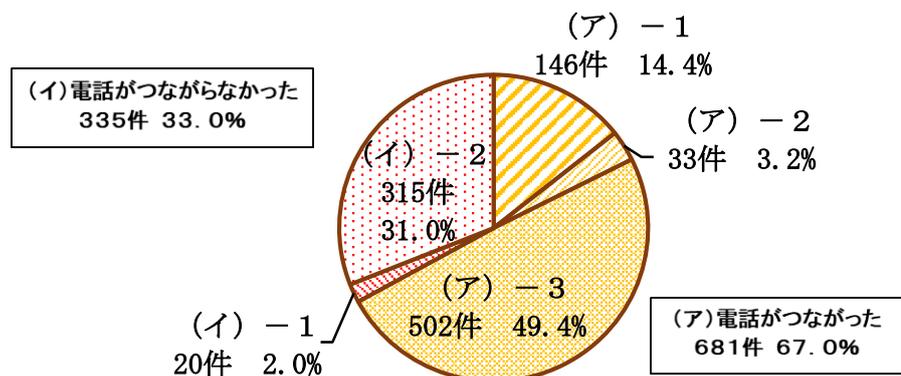
1	メッセージを最後まで聞き、「終了」のボタンを押した。	146件	14.4%
2	メインのメッセージまで聞いているが、「終了」または「リピート」のボタンを押さずに切断した。	33件	3.2%
3	電話はつながったが、接続確認ボタン(ダイヤルの『#』)を押さずに切断した。 受信者が導入メッセージで切断した、もしくは留守番電話になった。	502件	49.4%

(イ) 電話がつながらなかった件数

1	発信中に受信者が切断した(携帯電話で着信している時に拒否ボタンを押した)。	20件	2.0%
2	発信したが、応答がなかった(留守番電話にもならなかった)。	315件	31.0%

※ あだち安心電話は着信のあった電話番号に掛け直すことで、メッセージを聞き直せるようになっており、発信訓練終了後に登録者から76件の着信があった。

(5月24日現在)



(2) 第七地区町会連合会

ア 経過

午後3時00分00秒 764件に一斉発信

午後3時14分35秒 発信終了 (1.14秒/一件当たり)

イ 結果

(ア) 電話がつながった件数

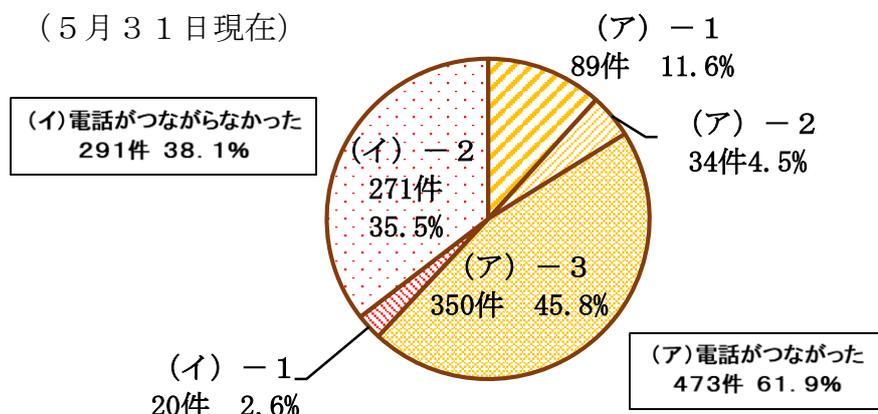
1	メッセージを最後まで聞き、「終了」のボタンを押した。	89件	11.6%
2	メインのメッセージまで聞いているが、「終了」または「リピート」のボタンを押さずに切断した。	34件	4.5%
3	電話はつながったが、接続確認ボタン(ダイヤルの『#』)を押さずに切断した。受信者が導入メッセージで切断した、もしくは留守番電話になった。	350件	45.8%

(イ) 電話がつながらなかった件数

1	発信中に受信者が切断した(携帯電話で着信している時に拒否ボタンを押した)。	20件	2.6%
2	発信はしたが、応答がなかった(留守番電話にもならなかった)。	271件	35.5%

※ あだち安心電話は着信のあった電話番号に掛け直すことで、メッセージを聞き直せるようになっており、発信訓練終了後に登録者から43件の着信があった。

(5月31日現在)



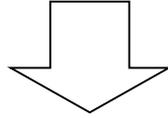
問題点
今後の方針

応答がなかった計586件について直接電話を掛け、現在使われている電話番号であるか登録が必要であるかの確認を一定期間行っていく。災害時に備え、今後も定期的に発信訓練を継続していく。

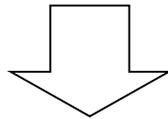
あだち安心電話発信メッセージの流れ

【導入メッセージ】

こちらは、足立区役所あだち安心電話です。
これは訓練です。避難の必要はありません。
ただいまより、あだち安心電話にご登録いただいた皆様へ発信訓練を行います。

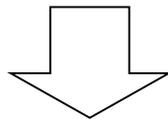


【接続確認】まず、はじめに、ダイヤルの『#』を押してください。

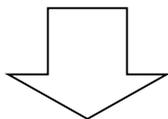


【メインメッセージ】

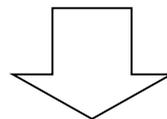
これは訓練です。避難の必要はありません。あだち安心電話では、台風などにより、河川の水位上昇・氾濫のおそれがある場合、避難情報などをお知らせします。
いざというとき、自らの身を守るため、ハザードマップを確認するなど、日頃から備えましょう。
メッセージは以上です。これで訓練を終わる場合は9を、もう一度はじめから聞く場合は0を押してください。



終了する場合は9を、もう一度はじめから聞きたい場合は0を押してください。



これで訓練を終わります。
ご協力ありがとうございました。



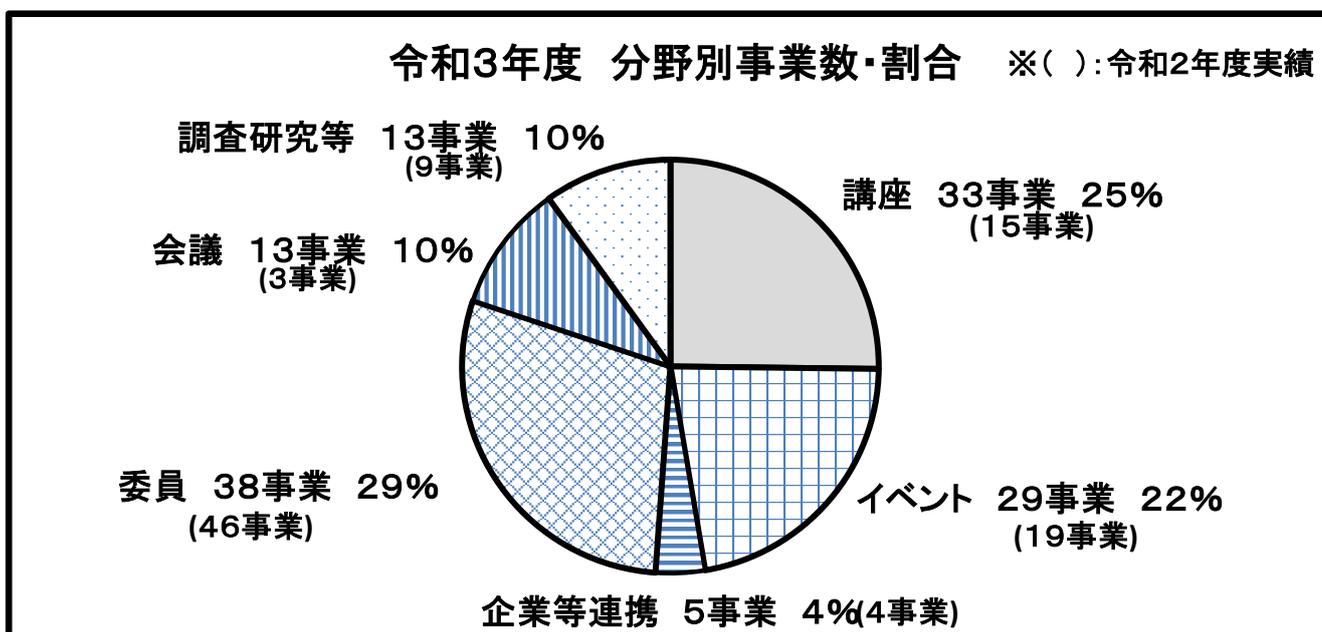
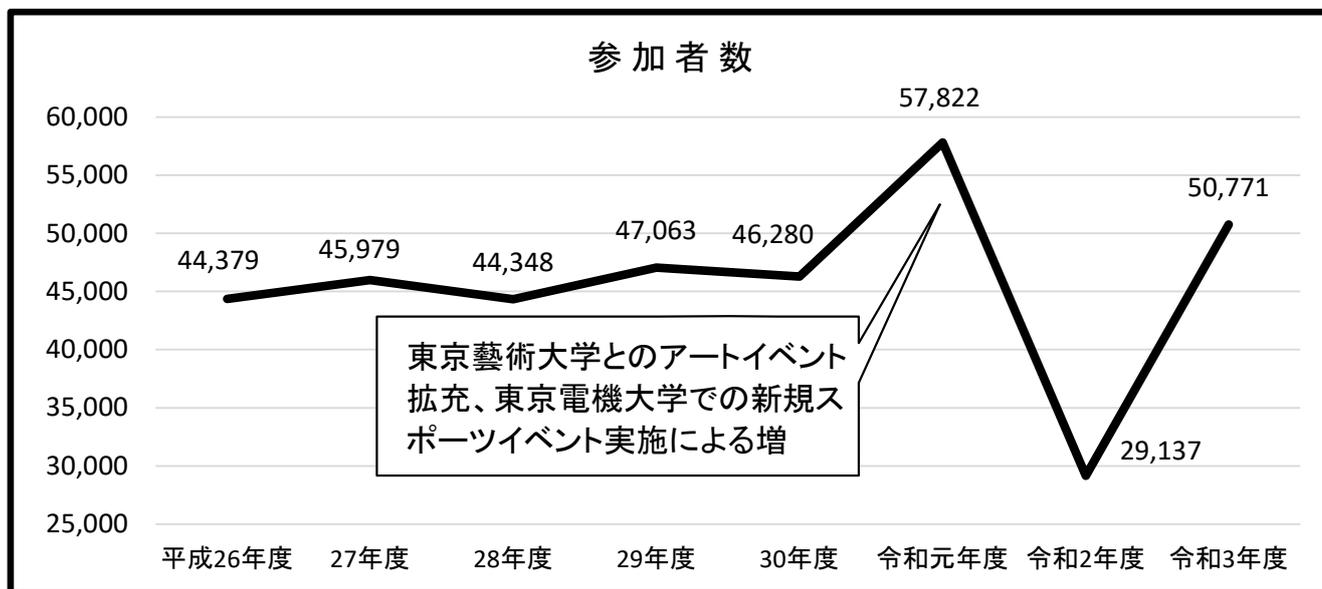
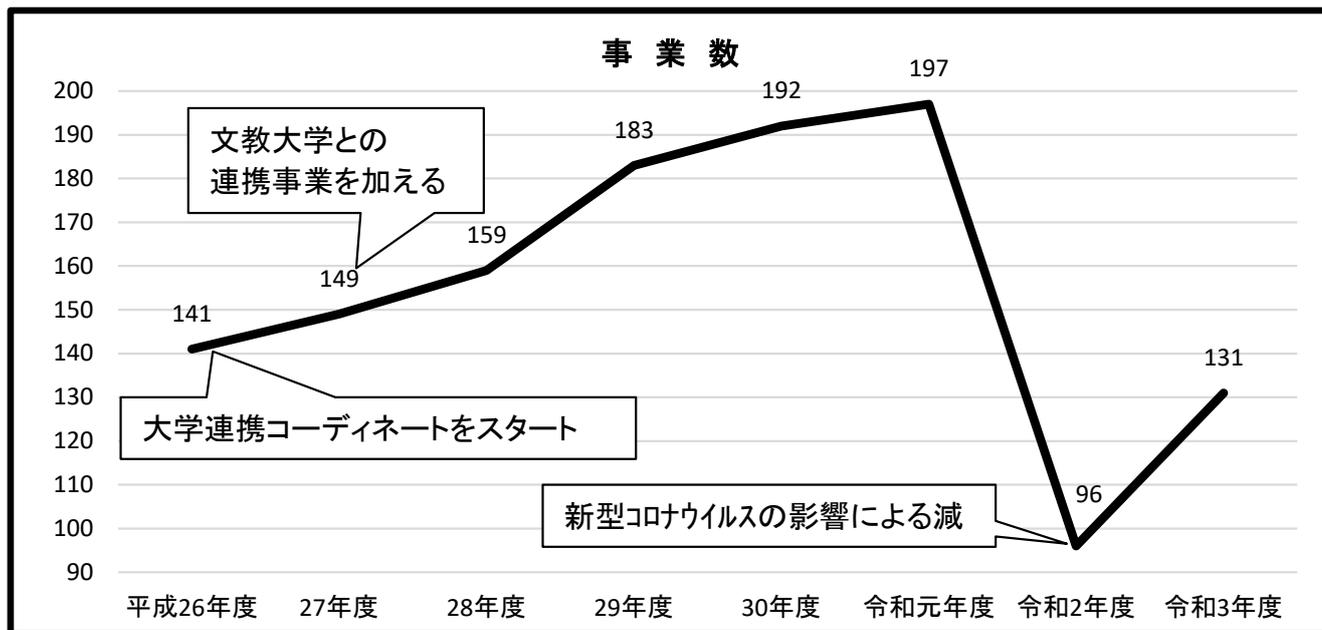
導入メッセージから再生

総務委員会情報連絡

令和4年6月24日

件名	令和3年度区内六大学との連携事業一覧について
所管部課	政策経営部 シティプロモーション課
内容	<p>令和3年度に実施された、足立区と放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学、東京電機大学、文教大学との連携事業についての調査結果をとりまとめたので報告する。</p> <p>1 実施した事業数 131事業（令和2年度 96事業） ※ 中止は38事業</p> <p>2 参加者数 50,771人（令和2年度 29,137人） ※ 内、動画配信の閲覧者数は16,578人</p> <p>3 主な増要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響で中止していた事業の多くが再開 ・ オンライン等非対面で実施（事業全体の約37%） <p>※ 事業数・参加者数の推移、令和3年度の分野別事業数・割合は、資料1、2のとおり</p> <p>3 各事業の詳細について 資料2のとおり</p> <p>4 調査結果の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携事業の有無に関わらず、全ての課に送付し情報を共有する。 ・ 大学連携事業に関する行政評価の指標として活用する。 ・ 区ホームページに掲載し、連携事業の区民への周知を図る。 ・ 各大学の専門性を活かした事業を展開できるよう、庁内各部署と情報を共有していく。
問題点 今後の方針	<p>大学と連携する庁内各部署との連絡会等において調査結果を活用し、さらなる事業の充実を図るとともに、情報発信の強化により事業全体の見える化を進める。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として事業の中止や延期があるものの、オンラインを活用した実施も増えている。今後も各大学と協議し各大学の特色を生かした事業を実施していく。</p>

六大学との連携事業



令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

本表の並び順について
 「事業区分」①講座 ②イベント ③企業等連携 ④委員 ⑤会議 ⑥調査研究等 の順
 「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順
 なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載
 「大学」(足立区での開設順) 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学
 「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課
1	講座	東京未来大学	高校生	指導者養成講座「アートボランティア講座」	こども心理学部 こども心理学科	高橋文子准教授	子どもたちにアート活動の機会を提供し、その活動を通して関わりを深め、自己表現を促すことのできる指導者を養成する講座。年2回、1回3日制で実施。	対面	①6/23、7/10、 ②10/14、10/28、 11/14	2	①25人 ②20人	29	-	-	子ども家庭部	青少年課
2			大学生	生涯学習センター主催講座	モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科	森下一成教員	学生によるまちづくり活動のコーディネート。	対面	通年	1	-	25	-	-	地域のちから推進部	生涯学習支援課
3			全区民	東京未来大学・生涯学習センター共催公開講座①「コロナに負けない心の健康講座」	こども心理学部	須田誠教授	区内大学との連携をさらに深め、より発展的な事業づくりにつなげていくことを目的とするとともに、東京未来大学の持つ専門性を活かした講座を区民の皆さまに広く提供し、暮らしや仕事に活かす。	対面	12/7	1	30	6	-	-	地域のちから推進部	生涯学習支援課
4	講座	帝京科学大学	大学生	認知症高齢者支援事業	医療科学部医療福祉学科	椋崎京子教授	医療福祉学科1年生の授業の枠内で、「認知症になっても住み続けられるまち足立」を目指し、認知症講座を2日制で実施。 【座学】認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座 【実演】認知症高齢者声かけ訓練	対面	10/5、10/19	2	50	91	-	【1日目(10/5)】 参加者数内訳:学生47名、教員1名、区職員1名 従事者内訳:区職員1名、地域包括支援センター職員5名、認知症疾患医療センター職員1名 【2日目(10/19)】 参加者数内訳:学生36名、教員1名、区職員1名、 地域包括支援センター職員4名 従事者内訳:区職員3名、地域包括支援センター職員12名、認知症疾患医療センター職員1名	福祉部	地域包括ケア推進課
5				介護実習(地域実習)	医療科学部医療福祉学科	椋崎京子教授 松永美輝恵助教	令和2年度、新型コロナウイルス感染症流行のため、介護実習で、「多職種協働によるチームアプローチ」、「保健・福祉・医療の連携」について理解を深めることが出来なかったため、代替実習として、模擬カンファレンスの動画を撮影。今年度はその動画を視聴した学生と対面で認知症に関わる地域支援推進員、疾患医療センター職員が学生と意見交換会を実施。終始、学生が会場案内、進行、締めの挨拶までを行い連携について理解を深めた。	対面	2/22	1	11	11	-	従事者内訳:区職員1名、地域包括支援センター職員5名、認知症疾患医療センター職員1名	福祉部	地域包括ケア推進課
6				学芸員実習	生命環境学部 アニマルサイエンス学科、自然環境学科、生命科学科	学長沖永莊八教授	博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験を実施。	オンライン	8/23~8/28	1	6	36	-	-	-	みどり公園推進室
7			帝京科学大学自然環境学科実習	自然環境学科	森長真一准教授	荒川下流域ならではの環境の特性を知り、身近な自然を理解することに繋げることを目的とし、帝京科学大学自然環境学科にて行われる環境野外実習。	対面	6/26	1	-	64	-	-	-	みどり公園推進室	公園管理課
8			あだちの大学リレーイベント企画「介護予防の現場で使える！身体的フレイル対策」	医療科学部 東京理療療法学科	潮見泰蔵教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。 前半はフレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、などの言葉の意味やそれぞれの関係性など、イラストやグラフを使って説明。 後半では、正しい筋力トレーニング方法について、潮見先生が動画を使って解説。	オンライン	12/18	1	100	51	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課
9			職員育成研修「乳幼児の人権」(WEB研修、オンデマンド研修)	教育人間科学部 幼児保育学科	林友子教授	日常の保育での子どもとのかかわり方を振り返りながら、事例を通して子どもの人権尊重について学ぶ。 当初は、会場にて対面で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、WEB研修に変更となった。オンデマンド研修では、受講対象者の範囲を拡大するとともに、WEB研修受講の環境が整わない施設が受講できるよう、YouTubeでのオンデマンド研修を実施。 当研修の講師を探していたところ、元当区職員であり、現在「乳幼児の人権」をテーマに教鞭を執られている林教授に講師を依頼したのでごまかせ。	オンライン	9/3、11/29~ 12/17	2	-	266	-	-	-	子ども家庭部	子ども施設指導・支援担当課
10			あだちの大学リレーイベント企画「見たい！知りたいたい！半導体！解きあかせ！電気のはみツ」	工学部 電子システム工学科	篠田宏之教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。 事前に参加者に送った実験キットを使い、ムギ球とLEDの点灯実験をしながら、半導体のしくみを学ぶ講座。	オンライン	10/2	1	90組	172	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課
11			足立区委託事業「科学-ものづくり体験教室」	工学部 自然科学系列 先端機械工学科/システムデザイン工学部 デザイン工学科	井上竜ノ介助手 長澤光晴教授/ 小林宏史准教授 佐藤真一講師 田中里美講師 保倉明子教授/ 伊藤俊介教授	ものづくり体験を通して科学的な思考力を身につけ、学ぶ意欲を育む機会。 「紫キャベツで試験紙を作り、水溶液の反応を調べる実験」「カメラの原理となるもの(カメラオブスキュラ)を作り、光の特性を調べる実験」「ペーパークラフトを作って学ぶ建築学」「ペットボトルの船を作り、入剤と水との化学反応を調べる実験」の4講座のうち1講座を受講。 当年度は新型コロナウイルス感染症の影響により非対面形式(作成キットを各家庭に送付し、動画を配信)で実施。 対象は小学5年生、チラシを小学校経由で対象全児童に配付、申込は個人単位。	オンライン	8/2~8/3、9/3~ 9/12	2	300	300	815,000	-	-	子ども家庭部	青少年課
12			あだちの大学リレーイベント企画「いろんな文化シッテgood!!世界のトモダチつくるコツ」	国際学部 国際理解学科	孫美幸准教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。 外国人や外国にルーツを持つ方の文化や生活を、多文化背景を持つ学生たちと一緒に学ぶ講座。	オンライン	2/19	1	50組	72	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課
13	生涯学習センター主催講座「多文化共生社会の未来は？」	国際学部 国際理解学科	孫美幸准教授	大学の持つ専門性を活かした講座。2つの高校で実施(潤徳女子高校、都立潮江高校)。	オンライン	11/24、12/15	2	-	440	-	-	-	地域のちから推進部	生涯学習支援課		
14	キャリア教育的な指導方略について	経営学部	新井立夫教授	「キャリア教育的な指導方略」と題した講座(足立区生涯学習センターとのリレー講座の企画)。教育指導課長がパネリストとして参加。	オンライン	8/7	1	60	29	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課		
15	アクティブスクールマネジメント	経営学部	新井立夫教授	キャリア教育的視点による「学びの変化に対応する高校・大学・企業の人材教育の在り方」と題した講座。教育指導課、学務課学校給食係、おいしい給食担当がパネリストとして参加。	オンライン	7/17、10/30	2	200	89	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課		
16	地域計画特論	国際学部	海津ゆりえ教授	まちづくりに関する行政課題についての講義、ディスカッション。	対面	10/18	1	-	4	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課		
17	地域調査演習	国際学部 国際理解学科	山田修嗣教授	行政職員とのインタビューを通して、地域課題等を考える。	-	6/22	1	-	4	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課		
18	あだちへの応募	国際学部 国際理解学科	本浜秀彦教授	動画作成を通して、足立区を知るきっかけとする。	-	11/4	1	-	8	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課		
19	あだち学	国際学部	海津ゆりえ教授	毛長川流域のフィールドワーク。花畑地域の歴史的考察に伴う講話、花畑地域の方と交流。	-	5/20	1	-	9	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課		
20	観光政策論	国際学部 観光学科	清水麻帆准教授	北千住でのフィールドワークを行い、観光政策などを通じた地域活性化を学ぶ授業。職員による講義を実施。	対面	6/29	1	-	10	-	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課		

①講座 東京未来大学・帝京科学大学・東京電機大学・文教大学

令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課	
① 講座 文教大学	講座	文教大学	大学生	21	公共経営実地演習	経営学部	新井立夫教授	行政課題の解決提案について、グループディスカッション、担当課への質疑・相談、プレゼンテーションを行う授業。区長、担当課職員による講和を実施。	オンライン、対面	通年	3	-	15	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課
				22	地域プロジェクト演習	国際学部	海津ゆりえ教授	地域作りに関するお題に対し、課題解決の提案をまとめる演習。	対面	9/16、1/13	2	-	21	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課
				23	空き家利活用	国際学部国際観光学科	清水麻帆准教授	地域資源などの活用を通じた地域活性化について学ぶ授業。	-	5/14	1	-	28	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課
				24	文化を基盤とした地域創生	国際学部国際観光学科	清水麻帆准教授	足立区の地域経済の課題とその方策について学ぶゼミ。	-	5/7	1	-	28	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課
				25	国際学入門	国際学部	海津ゆりえ教授	国際学部1年生全員が受ける、国際学に関する基礎授業。区の国際事情に関する取り組みについての講話を行う。	オンライン	5/28	1	-	293	-	-	政策経営部広報室	シティプロモーション課
				26	サービス・ラーニング(特殊講義)	国際学部国際理解学科	林薫教授	大学生が地域のNPO等が実施する活動に参加し、コミュニティをベースとした実際の課題への対処、自らできることを活動を通して学ぶ(8回の講義と45時間の実習)。	対面	通年	-	-	10	-	-	政策経営部あだち未来支援室	協働・協創推進課
			27	文教大学リレー講座「コロナパンデミック後の世界を考える国際学の視点から」	国際学部国際理解学科、地域連携センター	奥田孝晴教授	【開催経緯】文教大学東京あだちキャンパス新設記念事業として、文教大学地域連携センター、足立区生涯学習センターとの連携してリレー講座を企画、その最終回として共催。 【内容】コロナによって世界はどう変化するのか、コロナ後の世界はどうなるのか、国際学の視点からこれまで疫病の歴史を紐解きながら考え学ぶ。	オンライン	1/22	1	50	14	-	応募は59名、参加はオンラインのみで14名(5月に対面で開催予定だったが、緊急事態宣言発令のため9月に延期するが再度の宣言により1月へ再延期。開催日前日にまん延防止重点措置が適用されたため、オンライン開催のみに切り替えた。)	地域のちから推進部	生涯学習支援課	
			28	文教大学リレー講座「新型コロナウイルスがもたらした国際観光の変容」	国際学部教授	小島克巳教授	目的:文教大学東京あだちキャンパス新設を記念して、区内学習センターで文教大学教員を講師として招き、テーマごとに講座を開催する。新たな大学の学びを学習センターから区民に届ける。 内容:インバウンドに大きく依存してきたわが国の観光産業は、新型コロナの流行により大きな打撃を受けている。インバウンド需要の回復が当面見込めない中で、観光産業はどのように対応していけばよいか。また、アフターコロナ時代に向けて、私たちの旅の目的や形態はどのように変化していくのか。このような視点から、新型コロナウイルスがもたらした国際観光の変容について学ぶ。	オンライン	11/6	1	80	25	-	もともと6月に開催を予定していたが、緊急事態宣言の関係で11月に延期に。また、講師が都合で現地に来ることが難しくなったため、講演自体はzoomで行い、竹の塚センターでのパブリックビューイングと参加者各自でのオンライン視聴の2つの形式で開催した。	地域のちから推進部	生涯学習支援課	
			29	文教大学リレー講座「経営学入門 事業の3次元定義からみた企業経営」	経営学部	石塚浩教授	生涯学習センター「文教大学東京あだちキャンパス新設記念事業リレー講座」2回目。事業の3次元定義の枠組みを使い、企業経営について事例を紹介しながら大学の高度な学習機会を地域に広げることを目的とする。	オンライン	9/25	1	50	25	-	梅田地域学習センターで実施予定の事業を緊急事態宣言により中央本町地域学習センターに会場を移す。その後緊急事態宣言延長のためオンラインに変更実施。	地域のちから推進部	生涯学習支援課	
			30	生涯学習センター・地域学習センター連携講座「基調講演:キャリア教育的視点での主体的・対話的で深い学びと探究」「討論会:授業における主体的・対話的で深い学び」と「探求時間」によるキャリア教育的な指導方略	経営学部	新井立夫教授	大学の持つ専門性を活かした講座。	オンライン	8/7	1	60	29	-	-	地域のちから推進部	生涯学習支援課	
			31	文教大学リレー講座「決算書の見方・読み方入門」	経営学部	志村正教授	文教大学のあだちキャンパス新設記念事業として、地域学習センター6館でリレー講座を行う生涯学習センターとの共催事業。鹿浜地域学習センターでは、決算書の見方・読み方の入門を開催。お金について理解を深め、ビジネスだけではなく家計でも役立つ知識を学ぶ。	オンライン	10/2	1	60	31	-	実施方法は、対面とオンラインでの同時開催。	地域のちから推進部	生涯学習支援課	
			32	文教大学リレー講座「エコツーリズムのスズメ ～地域の宝がつかなく未来」	国際学部	海津ゆりえ教授	地域の宝を掘り起こすための視点と手法について、持続可能な観光の代名詞、エコツーリズムから見えてくる「あだち」の魅力と可能性を他地域の事例も交えながら考える。	オンライン	11/20	1	30	34	-	※足立区生涯学習センター、文教大学地域連携センター共催事業。 ※オンライン受講が難しい方のためにセンターにパブリックビューイング会場を設置して開催。	地域のちから推進部	生涯学習支援課	
			33	スクールソーシャルワーカー研修	人間科学部人間科学科	宮地さつき講師	不適切な養育環境の家庭への支援によるスクールソーシャルワーカーの資質向上。	オンライン	10/25	1	-	12	-	-	子ども家庭部	教育相談課	

令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課	
1	イベント	放送大学	全区民	学びピアの縁側、出展	-	-	生涯学習総合施設「学びピア21」の各施設が集まり、体験型プログラムを実施することで、新規利用者の獲得やリピーターの増加、各施設利用者へ横断的な利用を促すことを目的としたイベント「学びピアの縁側」において、放送大学より3サークルが参加。 毎月開催のイベントに可能な限り出展。	対面	毎月1回	4	-	355	-	イベント「学びピアの縁側」は基本毎月開催。コロナの状況により出展は各出展者が対策なども含め判断。 R3年度放送大学サークルの出展は、10~1月の4回。	みどり公園推進室	公園管理課	
2		東京藝術大学	小中学生	Music Brige プロジェクト	国際芸術創造研究科	大島路子特任講師 児玉真特任准教授	チャレンジ学級、あすテップの児童生徒を対象に、音楽に触れる体験を提供する。足立区生涯振興公社の仲介により若手音楽家の育成を目的とした同プロジェクトの活動拠点創造と不登校児童生徒への体験機会の提供の目的が合致したことから開催。	対面	2/22、2/28	2	-	32	-	-	-	子ども家庭部	教育相談課
3				足立区における多層的な文化芸術環境に関する調査研究委託事業「音楽教育支援事業」	音楽学部	佐野靖教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的な文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 具体的には、大学院生や藝大出身の若手演奏家が区内小・中学校及び子ども園を訪問し、音楽鑑賞会(金管アンサンブル等)、音楽科授業等補助(歌唱・合唱等)、部活動の基礎指導(金管バンド・吹奏楽)、小学校教員研修会を実施。 当年度は上記と並行して、各校の希望コンテンツについてアンケートを取り、動画を制作しDVDに収録後、配布。対面・非対面両形式で実施。	オンライン、対面	通年	-	-	17,791	17,043,000	-	-	子ども家庭部	青少年課
4				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「Memorial Rebirth 千住」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で見慣れた景色を変容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協働で展開するプログラム。 これまで実施したワークショップ参加者やプロジェクトメンバーらとともに、コロナ禍でもシャボン玉の景色を届け、新たな記憶を生むこと、新たな仲間をつくることを狙いとし、シャボン玉マシンを個人宅等に出張させる「メモリアのホームステイ」を中心に展開。	対面	6/20、9/19、9/20、10/3、10/11、10/16、10/24、11/7、12/25	9	-	684	15,000,000	支払額は「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事業に対する足立区負担金の総額を記載	政策経営部広報室	シティブロモーション課	
5				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住じゃれ音楽祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「じゃれ音楽研究会」が、多様な人々との共創を通じて、じゃれと音楽が結びついた「じゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。 オンラインでタイ・インドネシア・マレーシアをはじめとした海外とつながり、音楽作品を制作し、その集大成として「アジアじゃれ音Line音楽祭」を開催。	オンライン	9/12、1/22、1/23	3	-	1,111	15,000,000	支払額は「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事業に対する足立区負担金の総額を記載	政策経営部広報室	シティブロモーション課	
6				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住・人情芸術祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	これまで多数の実践を通して地域と育んできた「縁」を活かした、まちなか回遊型アートプログラム。地域のひと場所との関係性に着目した、新たな「縁」を結ぶことを目指す。 令和3年度は、公募で集まったパフォーマー達が同時多発的に歌や踊りなどのパフォーマンスを繰り広げる「1DAYパフォーマンス表現街」をはじめ、アサダワタル「声の質問」、友政麻理子「窓映画館、カーテンの夢」を実施。	対面	5/15、5/17、8/28~9/21、9/26、10/1、10/2、10/16、10/17、10/23、10/24、10/30、10/31	20	-	1,234	15,000,000	支払額は「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事業に対する足立区負担金の総額を記載	政策経営部広報室	シティブロモーション課	
7				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「イミグレーション・ミュージアム・東京」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社会を紐解く岩井成昭(秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師)のプロジェクト。 これまでの活動の集大成として、多国籍美術展「わたしたちはみえている-日本に暮らす海外ルーツのひとと」を開催。ゲストアーティストによる作品展、外国にルーツを持つひとによる公募展、市民団体等の活動展示を行った。令和3年度は新たな試みとして、区内小学校4校を対象にしたエデュケーション・プログラム(アウトリーワークショップ、多国籍美術展での鑑賞ツアー)を展開。	対面	11/18、11/22、12/7、12/10、12/11~12/26	40	-	2,298	15,000,000	支払額は「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事業に対する足立区負担金の総額を記載	政策経営部広報室	シティブロモーション課	
8				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「文化サロン「仲町の家」拠点形成事業」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設として管理運営している文化サロン。 若手アーティストを招聘し、制作・発表の場を提供し、アーティストと地域との交流を生み出す企画を実施。	対面	4/3~3/28までの土・日・月・祝日(159日祝日)	159	-	4,851	15,000,000	支払額は「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事業に対する足立区負担金の総額を記載	政策経営部広報室	シティブロモーション課	
9				藝大生が奏でる秋のワゴンコンサート	音楽学部	-	地域住民に区内大学の活動を知ってもらうとともに芸術に親しむ機会を提供するため、藝大生2名によるピアノコンサートを開催。	対面	10/17	1	30	33	-	-	出演者は東京藝術大学学生。	地域のちから推進部	生涯学習支援課
10				足立区における多層的な文化芸術環境に関する調査研究委託事業「芸術によるまちづくり事業」	音楽学部音楽環境創造科	田村文生准教授	コンサートや動画配信を通して、区民の文化芸術への関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸術振興に資することを目的とする。 コンサートと動画配信(R2年度から)を年4~5回で実施。	オンライン、対面	7/2、8/15、9/29、10/17、11/3	5	40、60	14,409	3,000,000	対面でのコンサートは、2回実施。動画配信は、3回実施。	地域のちから推進部生涯学習支援室	地域文化課	
11				足立区における多層的な文化芸術環境に関する調査研究委託事業「福祉と子育て支援事業」	音楽部	畑瞬一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的な文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 保育者を対象に音楽を通して乳幼児と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実践につながる具体的な音楽活動(おとあそび研修)。 音楽療法のノウハウとスキルを区内保育施設の音楽活動に活用するための出張型園内コンサート。 「おとあそびのノウハウで子どもとかわるヒントとコツ」をテーマに保育者向けワークショップ。 障がいのある子どもとその家族を対象としたコンサート。	対面	①5/25、6/24、7/9、10/7、11/8、11/25、12/16 2/8~2/18(オンデマンド) ②11/19、12/7 ③2/27(オンライン) ④12/17~1/31(オンデマンド)	①8回 ②2回 ③1回 ④1回	①26名 ②各施設の5歳児 ③20名 ④オンデマンドのため定員はなし	169	1,400,000	・新型コロナウイルス感染症の影響による対応は以下のとおり ①については、第8回をオンデマンド配信にて実施。 ③についてはオンライン開催 ④期間限定で動画を配信	教育指導部	就学前教育推進課	
12		東京未来大学	全区民	くらしフェスタ	こども心理学部	木内菜保子准教授、小林久美教授、鈴木哲也准教授、高橋文子教授	消費生活に関する知識を啓発するイベント。未就学児、小学生またはその保護者に向けた啓発をターゲットとしており、そのためのワークショップを大学側と協議する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により縮小開催(主に人を配置しない展示会)が決定したため、打合せ等も行われなかった。	対面	10/20~10/26	7	-	60	-	縮小開催開催のため、縮小開催のものを記載。	産業経済部	産業政策課	
13		帝京科学大学	幼児	足立区委託事業「non face to face type のびのびプレイデー」	教育人間科学部幼児保育学科	飯泉祐美子教授	2歳児以上の未就学児を対象とした遊び体験事業。申し込んだ家庭へ幼児保育学科の1年生が企画・準備した「2・3歳児向け」「4・5歳児向け」の親子で遊べる動画(親子でうごいて遊ぶ・おはなしを見る、聞く・親子でつづいて遊ぶ)28本を配信。保護者向けとして、育児や遊びの意義、家庭でできる遊びについての解説を同動画内で配信。	オンライン	12/22~1/17	1	-	482	624,439	参加者数は対象年齢児のみ的人数。	子ども家庭部	青少年課	
14			小中学生	足立区委託事業「Zoomで体験！一日大学生」	総合教育センター/自然環境学科/東京柔道整復学科/医療福祉学科	松本ディオゴけんじ講師/橋本慎治教授/小黒正幸助教授/浅沼太郎講師	大学キャンパスでの授業や大学生活を体験することで、学問の面白さに気付く機会を提供するとともに、将来の進路を考えるキャリア教育に資することを狙いとする。当年度は以下の5企画をZoom配信で実施。 未来を予測！？数理モデルを体験！ 地球温暖化が進むと魚はどうなる！？ 捻挫の科学～足首の捻挫を科学する～ ソーシャルワーカーって何だろう？ 大学生がキャンパスライフを紹介！ 対象は全中学生、チラシを中学校経由で全生徒に配付、申込は個人単位。	オンライン	1/8	1	160	34	76,080	-	-	子ども家庭部	青少年課

② イベント 放送大学・東京藝術大学・東京未来大学・帝京科学大学

令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

② イベント
帝京科学大学・文教大学・複数大学

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課
15	イベント	帝京科学大学	小中学生	足立区委託事業「Zoom de 夢の体験教室」	教育人間科学部学校教育学科	平田敦義准教授 石橋裕子教授 米田巖根講師 安藤生大教授 高田由基助教授 橋剛夫教授 持田尚准教授 岩沼聡一朗講師 松井高光助教授 長見真教授 馬場千秋教授 金田拓講師 植木丘雪教授 吉村日出東教授 神谷純子准教授 鈴木貴史准教授 永沼充教授 小池守教授 倉山智春准教授 大日向浩教授 櫻井丈講師 寝占真翔特任助教	大学キャンパスでの授業体験や大学生との交流を通じて、学習する面白さや大学に対する興味関心を深め、将来の進路を考えるキャリア教育に資することを目的とする。当年度の内容は科学、英語、スポーツ、雑学をテーマにして5日間に分けてZoomで配信。対象は小学4～6年生、チラシを小学校経由で対象全児童に配付、申込は個人単位。	オンライン	12/18、1/22、2/5、2/12、2/19	1	-	117	434,540	-	子ども家庭部	青少年課
16				足立区委託事業「ICTを活用した教材開発・実践事業(ふれあい動物教室・自然体験教室)」	教育人間科学部こども学科	花園誠教授 大学生	さまざまな動物とのふれあいや観察を通じて、いのちの大切さを体験的に学ぶ「ふれあい動物教室」を動画にして配信。小学校1・2年生対象、小学校単位で実施。山梨県上野原市で行う季節の植物や動物とのふれあい「大学遠足」をZoomで各教室とつなげて実施。小学4年生対象、小学校単位で実施。	オンライン	11/18、11/30、12/3、12/8、12/10、12/14、12/15、1/14	8	-	880	4,056,560	-	子ども家庭部	青少年課
17			大学生	清掃美化活動実施団体への登録及び清掃活動の実施	-	-	大学として団体登録。月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が3,300円以内の清掃用品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	毎週月曜日	47	-	188	-	-	地域のちから推進部	地域調整課
18			高齢者	孤立ゼロプロジェクト推進事業	医療科学部医療福祉学科	楠永敏准教授 山田健司教授 吉賀成子准教授	医療福祉学科では、平成28年度から授業の一環として、学生による地域活動「千住便利隊」を行っている。キャンパス周辺地域の高齢者宅を訪問し、掃除、買い物の手伝い、話し相手など高齢者の見守り活動に取り組んでいる。帝京科学大学は、絆のあんしん協力機関に登録している。	対面	11月	1	32	32	-	-	地域のちから推進部	絆づくり担当課
19			全住民	オランダ連携事業「GAME CHANGERプロジェクト～パラスポーツで社会を変える～」	医療科学部東京理学療法学科	潮見泰蔵教授	2017年10月から共生社会の先進国であるオランダとの連携事業を展開。花畑地域の小・中学校、特別支援学校とオランダのパラスポーツの交流事業や地域スポーツではオランダの障がい者スポーツ普及の仕組みを学び、2020年9月に障がい者の運動・スポーツ相談窓口「あだちスポーツコンシェルジュ」を開始した。また、この事業が縁となり、2020年11月に総合スポーツセンター内に「スペシャルクライフコート」を設置、障がいの有無に関わらず誰もが運動・スポーツを楽しめる共生社会の実現に向けた取り組みをスタート。この取り組みを広く区民に周知するため、これまで連携事業に携わったステークホルダーのインタビューを軸としたオランダ連携動画(第7弾)を作成。2019年11月に帝京科学大学理学療法学科の学生を対象としたオランダアスリート講演会にご協力いただいた潮見教授にご出演いただいた。オランダ連携動画(第7弾)は2022年1月29日～2月6日J:COMチャンネル足立で放映したほか、動画deあだちに公開。	対面	11/16	1	-	1,058	-	参加者数は動画視聴回数。	政策経営部	経営戦略推進担当課、スポーツ振興課
20			全住民	避難所運営訓練(本館)	-	-	帝京科学大学(本館)を避難所とする町会・自治会との訓練を実施。	対面	11/20	1	-	42	-	本来であれば避難所となる大学の周辺の住民に広く参加を呼びかけるところではあるが、新型コロナウイルス感染症のため、避難所を運営する町会・自治会役員や学校関係者などに参加者を限定し、訓練を実施。	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
21			小中学生	「Zoom de 0からENGLISH」	国際学部国際理解学科	塩沢泰子教授	英語を身近に感じられるレクリエーション(ジェスチャーゲームや絵本の読み聞かせなど)を午前の部・午後の部の2部制にしてZoom配信で実施。	オンライン	2/13	1	60	38	-	-	子ども家庭部	青少年課
22			小中学生	ぶんご食堂	国際学部国際理解学科	林薫教授	学生主催の子ども食堂の実施。	対面	12/12、3/13	2	-	70	-	-	政策経営部広報室	シティブロモーション課
23			大学生	WEB学内合同業界セミナー	-	-	就職活動に向けた足立区及び企業の説明会。	オンライン	12/22	1	-	27	-	-	政策経営部広報室	シティブロモーション課
24			大学生	学内合同業界研究セミナー	-	-	インターンシップに向けた受け入れ足立区及び企業による業務説明。	オンライン	6/5	1	-	54	-	-	政策経営部広報室	シティブロモーション課
25	全住民	出張展示「絵本で世界を旅しよう フィンランド」	大学事務局学術情報部図書館課	-	【内容】文教大学東京あだち図書館の特集コーナーにて、共同展示を行った。花畑図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」のフィンランドの回で取り上げた資料や、フィンランド出身の作家が書いたクリスマス絵本など双方の図書館資料を展示。 【目的】資料展示などを通して双方の図書館の認知と利用促進を図る。 【開始した経緯】花畑図書館では読書推進事業の一つとして展示本の出張を検討していたところ、文教大学のご協力により特集展示が実現。	対面	11/22～12/25	1	-	51	-	特集展示本は館内閲覧としていたため、参加者数としては、コーナーに置いたアンケートの記入者12名。	地域のちから推進部生涯学習支援室	中央図書館		
26	小中学生	帝京科学大学、東京未来大学、文教大学	小学校自然教室事業(日光・鋸南)	-	-	小学校5年生の鋸南自然教室、6年生の日光自然教室に随時、教員の補助をすすめる指導補助員・養護指導員として大学生が参加。	対面	10月～12月	日光70 鋸南69	-	66	-	東京未来大:9名 帝京科学大:29名 文教大:28名	学校運営部	学務課	
27	大学生	帝京科学大学、東京未来大学、文教大学	春のごみゼロ地域清掃活動	-	-	区の「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力依頼済み。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	5/24、6/18、6/21	-	-	33	-	-	地域のちから推進部	地域調整課	
28	大学生	帝京科学大学、東京未来大学、東京電機大学、文教大学	秋のごみゼロ地域清掃活動	-	-	区の「秋のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力依頼予定。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	10/18、10/23、11/17、11/25、11/29	-	-	44	-	-	地域のちから推進部	地域調整課	
29	六大学	夏期アルバイト募集	-	-	学童保育室・児童館業務補助。	対面	小学校夏休み期間	-	30	3	-	-	-	地域のちから推進部	住区推進課	

令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課
1	企業等連携	東京電機大学	全区民	産学連携技術促進事業技術勉強会「ロボットと情報通信ネットワーク」	工学部情報通信工学科	鈴木剛教授	ロボットと情報通信ネットワークの関係について概観し、情報通信ネットワークの基礎事項について学ぶ勉強会。ロボットと情報通信ネットワークに係わる様々な研究事例を紹介し、課題や展望を学ぶ勉強会。	オンライン	6/17、6/24	2	40	29	—	—	産業経済部	企業経営支援課
2				産学連携技術促進事業産学公金交流会	—	—	「SDGs社会を生きる ～環境とエネルギー(脱炭素)～」東京電機大学教員や企業による省エネなど環境に配慮した製品や技術の研究に関する講演、製品の展示を行う交流会。 主催：東京電機大学・足立成和信用金庫・足立区	オンライン	9/22	1	50	30	—	—	産業経済部	企業経営支援課
3				産学連携技術促進事業技術勉強会「中小企業も活用できるIoT・AI」	工学研究科	森和男教授	デジタル化の要となるIoTやAI導入の必要性や効果について学ぶ勉強会。IoTやAIの導入に向けて具体的に取り組むべきかを学ぶ勉強会。	対面	11/4、11/19	2	40	36	—	—	産業経済部	企業経営支援課
4				産学連携技術促進事業技術相談事業	産官学交流センター	—	区内事業者からの技術相談受付、区内企業訪問、産学連携マッチング等を行う。	対面	随時	—	—	63	—	参加者数は技術相談受付件数 ※同じ企業でもプロモーション・相談内容が異なる場合は別カウント。同じプロモーション・相談について複数回対応した場合はカウントしない。	産業経済部	企業経営支援課
5		東京未来大学、文教大学	大学生	大学生地域活動プラットフォーム	—	—	区内企業の若手経営者と学生のオンライン交流会及び区内企業へのインタビュー。区内企業との商品開発。	オンライン、対面	7/1～8/6、11/29～1/26	55	—	329	5,000,000	—	政策経営部広報室	シティプロモーション課

③ 企業等連携大学・複数大学

令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課				
④委員 放送大学・ 文教大学・ 複数大学 東京芸術大学・ 東京未来大学・ 帝京科学大学・ 東京電機大学	委員	放送大学	—	コールセンター事業	教養学部情報コース	中谷多哉子教授 松垣博章教授	足立区統合電話センター運営評価委員会における助言者。	オンライン	2/3	1	—	10	—	—	政策経営部広報室	区民の声相談課				
				生涯学習関連施設指定管理者評価委員	—	岩永雅也学長	生涯学習関連施設を運営する指定管理者についての評価委員会の学識委員。	対面	8/18、8/19、8/20	3	10	15	—	参加者数の実数は、生涯学習関連施設指定管理者評価委員会の委員数を記載。	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課				
		東京芸術大学	全区民	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 文化芸術部会	—	西岡龍彦名誉教授	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会条例に基づき、文化、読書及びスポーツ活動の推進に係る計画の進捗を一体的に管理し、及び評価するとともに、足立区における文化芸術、読書活動及び運動・スポーツを推進するため、区長の附属機関として、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会を設置している。なお、分野ごとに検討する場合は、文化芸術部会、読書部会、運動・スポーツ部会にて活動。	対面	6/21、7/13、8/4	3	5	15	—	感染症対策を前提に、対面とオンラインの併用での実施を基本とする。	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課				
				足立区文化芸術劇場運営評価委員会	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	芸術劇場の施設運営を円滑に推進するため、シアター1010指定管理者の評価。	対面	9/6	1	5	6	—	—	地域のちから推進部	地域文化課				
		東京未来大学	—	全区民	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 運動・スポーツ部会	子ども心理学部	藤後悦子教授	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会条例に基づき、文化、読書及びスポーツ活動の推進に係る計画の進捗を一体的に管理し、及び評価するとともに、足立区における文化芸術、読書活動及び運動・スポーツを推進するため、区長の附属機関として、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会を設置している。なお、分野ごとに検討する場合は、文化芸術部会、読書部会、運動・スポーツ部会にて活動。	対面	6/18、7/16、7/26	3	5	15	—	感染症対策を前提に、対面とオンラインの併用での実施を基本とする。	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課			
					公契約等審議会	モチベーション行動科学部	田中真奈美教授	足立区公契約等審議会の学識委員。	対面	5/7、6/25、8/10、8/11、9/2、9/17、10/20、2/22	8	4	29	—	参加者数の実数、定員は、審議会の委員数を記載。	総務部	契約課			
					防犯まちづくり推進地区	子ども心理学部	出口保行教授	防犯まちづくり推進地区の新規認定に向けた認定委員会を開催した。下沼田町会から提出された認定申請書に対して、当町会が防犯まちづくり推進地区として認定に至るか審議した。会議の中で町会の取り組みについて講評を受けた。	対面	3/18	1	—	13	—	—	都市建設部	まちづくり課			
					公園施設指定管理者選定等審査会	子ども心理学部 子ども心理学科	小林久美教授	公園施設指定管理者(都市農業公園)の評価。	対面	7/19	1	6	6	—	—	みどり公園推進室	公園管理課			
					公園施設指定管理者選定等審査会	子ども心理学部 子ども心理学科	小林久美教授	公園施設指定管理者(都市農業公園)の選定。	対面	5/17、8/18、8/25	3	6	18	—	—	みどり公園推進室	公園管理課			
					足立区立校外施設指定管理者評価委員会	子ども心理学部 子ども心理学科	小林久美教授	区立小学生が利用する校外施設を運営する指定管理者を評価するにあたり、大学の教授から専門的な意見をいただくことで、より適切な評価を実施することが可能。	対面	7月	1	—	6	—	校外施設評価委員会委員は6名。うち1名が大学教授	学校運営部	学務課			
					子ども支援専門部会特別部会	子ども心理学部	小谷博子准教授	子ども支援専門部会の特別部会員。	書面、対面	7/14、12/21、2月	3	—	63	—	参加者数の実数は、子ども支援専門部会の委員数を記載。	子ども家庭部	子ども政策課			
					足立区いじめ等調査委員会	子ども心理学部、子ども心理学科	大橋恵教授	足立区いじめ等調査委員会の委員。	対面	8/17、11/5、12/7、12/14、1/11、1/17、1/24、2/14、2/18、3/23、3/29	11	—	33	—	実施日は、連携の相手方である当該委員が出席した日のみを記載 参加者数は出席委員数	総務	特命・調査担当			
					福祉施設指定管理者等評価委員会	学校教育学科、教育人間科学部	石橋裕子教授	福祉施設指定管理者等評価委員会の学識委員。以前、社会福祉法人設立認可審査委員会をしていた経緯から依頼。	対面	9/1	1	—	7	—	参加者数の実数は委員会の委員数を記載	福祉部	福祉管理課			
					福祉サービス苦情等解決委員会	医療科学部医療福祉学科	加藤洋子教授	福祉サービス苦情等解決委員会の委員。	対面	5/31、11/22、2/18	3	—	17	—	3回開催で1回(2/18)については書面開催にて実施。日付は送付日。	福祉部高齢者施策推進室	高齢福祉課			
					精神障がい者施設指定管理者選定等審査会	医療科学部医療福祉学科	三木良子講師	足立区精神障がい者自立支援センターの指定管理者評価を実施。	対面	10/18	1	—	16	—	参加者数実数は審査会当日の出席者数。	衛生部	中央本町地域・保健総合支援課			
					東京電機大学	—	小中学生	「地球にやさしいひとのまほ」ポスターコンクール入賞作品の審査	工学部デザイン工学科	柴田滝也教授	区民が環境問題について考えながらポスターを作成することにより、環境問題に対する知識や理解を深めてもらい、その啓発を目的とした事業。手書きの作品だけでなく、パソコン作成の作品も応募対象としているため、審査項目の観点から依頼。	対面	11月	1	—	7	—	—	環境部	環境政策課
								足立ブランド認定推進事業	ものづくりセンター	帯川利之副センター長	足立ブランド企業認定の選考委員会の委員及び技術確認のための企業訪問。	オンライン	10/1、11/22、3/25、10/26	4	7	21	—	—	産業経済部	産業振興課
								居場所を兼ねた学習支援事業委託プロポーザル選定委員会	子ども心理学部/理工学部	小林久美教授/山本宏樹准教授	居場所を兼ねた学習支援事業委託についての選定委員会委員。	対面	8/17、10/14、12/6	3	6	18	—	—	福祉部	くらしとごとの相談センター
								足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会	都市デザイン研究室	土田寛教授	足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会の審査委員。	対面	2/15	1	6	6	—	参加者数の実数は、選定会の委員数を記載。	衛生部	衛生管理課
		環境審議会	未来科学部建築学科	百田真史教授				環境基本条例に基づく区長の附属機関の学識経験者委員環境審議会副会長。	オンライン	5/26、7/16、9/13、11/11、2/15	5	15	75	—	—	環境部	環境政策課			
		足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員	未来科学部建築学科	山田あすか教授				足立区ユニバーサルデザイン推進会議の学識委員。	オンライン	5/14、12/3、3/1	3	15	20	—	—	都市建設部	都市計画課			
		足立区バリアフリー協議会委員会	未来科学部建築学科	山田あすか教授				足立区バリアフリー協議会の学識委員。	書面、対面	5/21、6/15、7/7、8/24、9/28、11/19、1/24、2/16、2/25	9	38	342	—	—	都市建設部	都市計画課			
		公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会	国際学部国際観光学科/システムデザイン工学部情報システム工学科	清水麻帆准教授/松井加奈絵准教授				公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会における学識委員。助成の給付対象、給付額および給付方法等の決定を行う。まちづくり活動成果発表会への出席および講評。	対面	7/29、2/10、11/2	3	—	90	—	—	都市建設部市街地整備室	まちづくり課			
		文教大学	—	—	旧足立区立千寿第五小学校用地活用事業整備・運営事業者選定委員	人間科学部人間科学科	宮地さつき専任講師	旧足立区立千寿第五小学校用地活用事業整備・運営事業者についての委員会の有識者委員。	オンライン、対面	4/19、8/23、8/30	3	3	9	—	—	総務部				
					あだち子どもの未来応援基金審査会	国際学部国際理解学科	林薫教授	あだち子どもの未来応援基金審査会の委員。	対面	12/10	1	—	5	—	実質参加者数、延べ参加者数参加者数は、審査会の委員数を記載	政策経営部あだち未来支援室	子どもの貧困対策・若年者支援課			
					外国にルーツを持つ児童生徒等に対する学習支援事業委託受託事業者評価委員会委員	文学部外国人留学生別科	三枝優子准教授	外国にルーツを持つ児童生徒等に対する学習支援事業委託受託事業者評価委員会の学識委員。	対面	11/22	1	—	9	—	—	地域のちから推進部	地域調整課			
					創業支援施設入居者選考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業支援施設入居者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	10/29	1	—	5	—	・参加者数の実数は、選定会の委員数を記載。	産業経済部	企業経営支援課			
					起業家支援塾プロポーザル選定委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	起業家支援塾受託事業者決定についての選考委員会の学識委員。	オンライン	12/17、2/14	2	—	9	—	・参加者数の実数は、選定会の委員数を記載。 ・1回目は対面で実施 ・2回目は除斥規定に基づき1名欠席	産業経済部	企業経営支援課			
					創業プランコンテスト選考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業プランコンテスト採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	6/16、7/20	2	—	10	—	・参加者数の実数は、選定会の委員数を記載。	産業経済部	企業経営支援課			
					東京未来大学、東京電機大学	小中学生	小中学校用業務委託事業者選定委員会	保育・教職センター/管財部	長谷川かほる特任教授/井山義信部長	小中学校用業務委託事業者選定委員会の学識委員。シティープロモーション課大学連携担当係長の紹介。	対面	9/30、12/16、12/17	3	7	21	—	参加者数の実数は、選定会の委員数を記載。	学校運営部	学校支援課	

令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

資料2

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課
31	委員	放送大学、 東京未来大学	高齢者	孤立ゼロプロジェクト推進事業	—	宮本みち子名誉教授、 角山剛学長	孤立ゼロプロジェクト推進連絡会の委員として助言等を行う。 (一人暮らし高齢者の孤立対策という視点から)	書面	2月	1	26	26	—	—	地域のちから推進部	絆づくり担当課

令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課
32	委員	放送大学、東京藝術大学、東京未来大学	全区民	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会	子ども心理学部	岩永雅也学長 西岡龍彦名誉教授 藤後悦子教授	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会条例に基づき、文化、読書及びスポーツ活動の推進に係る計画の進行を一体的に管理し、及び評価するとともに、足立区における文化芸術、読書活動及び運動・スポーツを推進するため、区長の附属機関として、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会を設置している。なお、分野ごとに検討する場合は、文化芸術部会、読書部会、運動・スポーツ部会にて活動。	対面	4/30、8/27	2	16	32	—	感染症対策を前提に、対面とオンラインの併用での実施を基本とする。	地域のちから推進部生涯学習支援室	生涯学習支援課
33		放送大学、東京電機大学	—	情報システム支援業務委託プロポーザル選定委員会	教養学部情報コース/未来科学部ロボット・メカトロニクス学科	中谷多哉子教授/ 桧垣博章教授	支援業務の委託業者について、選定会の学識委員。以前、住記、税の再構築について選定会の学識委員をしていた。	オンライン	6/14、9/21	2	5	10	—	参加者数の実数は、選定会の委員数を記載。	政策経営部	情報システム課
34		東京未来大学、東京電機大学	—	足立区区民評価委員会の学識委員会	子ども心理学部/未来科学部建築学科	藤後悦子教授/ 萩原雅史講師	足立区区民評価委員会の学識委員。	オンライン	4/19、8/17、12/13	3	17	44	—	—	政策経営部	政策経営
35		東京藝術大学、東京未来大学、文教大学	—	足立区ギャラクシティ運営評価委員会	音楽学部/子ども心理学部/子ども心理学科/教育学部	伊志嶺絵里子非常勤講師/ 渡辺千歳教授/ 山縣朋彦教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区子ども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の評価。	対面	9/1、9/7	2	5	11	—	—	地域のちから推進部	地域文化課
36		帝京科学大学、東京未来大学	—	公園施設指定管理者選定等審査会	生命環境学部アマルサイエンス学科/子ども心理学部/子ども心理学科	加賀谷玲夢講師/ 鈴木哲也教授	公園施設指定管理者(元洲江公園・生物園)の評価。	対面	7/28	1	6	6	—	—	みどり公園推進室	公園管理課
37		東京未来大学、文教大学	—	プロポーザル選定委員会	子ども心理学部/子ども心理学科/国際学部	小林祐一教授/ 海津ゆりえ教授	公募型プロポーザルによる委託事業者(桑袋ビオトープ公園ほか1か所)の選定。	対面	9/14、11/19、1/11	3	5	15	—	—	みどり公園推進室	公園管理課
38		帝京科学大学、東京未来大学	—	子ども施設指定管理者等選定審査会	教育人間科学部幼児保育学科/子ども心理学部/子ども心理学科	林友子教授/ 佐々木由美子教授	子ども施設指定管理者等選定審査会の委員。	対面	8/3、3/16	2	—	16	—	参加者数の実数は、選定審査会の委員数を記載。	子ども家庭部	子ども政策課

④委員
複数大学

令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課
1	会議	東京藝術大学	—	水害時避難所運営手順書についての打合せ	事務センター	藤原修事務長	令和3年1月22日に「大規模水害時における緊急避難建物としての使用に関する協定」を締結したため、その後作成した水害時避難所運営手順書案についての内容協議。	対面	7/5	1	—	3	—	—	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
2		東京未来大学	高齢者	孤立ゼロプロジェクト推進事業	エンロールメント・マネジメント部	越智房樹氏	常東地域(日ノ出町、千住旭町、千住関屋町、千住東、柳原)の住民が、認知症になってもお互いに助け合いながら安心して暮らせる町づくりを検討。東京未来大学の学生との交流も含め、常東地域あんしん拡大推進会議の協カメンバーとして情報交換。	オンライン	1/26	1	10	10	—	—	地域のちから推進部	絆づくり担当課
3			—	備蓄倉庫見学	エンロールメント・マネジメント部	大磯貴晃氏	当初、30名程度が集まって訓練の実施を予定していたが、緊急事態宣言の延長に伴い見送ることとした。その代替として、地域から要望が挙がっていた備蓄倉庫の見学のみ実施。	対面	9/20	1	—	18	—	—	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
4		—	避難所運営会議役員会	エンロールメント・マネジメント部	大磯貴晃氏	作成した水害時避難所運営手順書の周知および12年ぶりに実施する避難所運営訓練に向けた準備。	対面	7/6	1	—	21	—	—	—	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
5		東京電機大学	—	駅前滞留者対策推進協議会事業者ヒアリング	管財部	井山義信部長	北千住駅前滞留者対策協議会に参加いただいている事業者として、大規模地震時の事業者としての対応をヒアリング。	オンライン	1/24	1	—	6	—	—	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
6			—	駅前滞留者対策推進協議会の合同オンライン説明会	管財部	井山義信部長	北千住駅前・綾瀬駅等滞留者対策推進協議会に対し、現在作成している「北千住ルール実践のための行動指針(案)」等、区の方針を説明するための説明を実施。	オンライン	2/28	1	—	29	—	—	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
7			—	ものづくり支援事業	地域連携担当	深澤武彦課長	あだち異業種連絡協議会から東京電機大学と連携して異業種フォーラムを開催したいとの依頼があり、連携事業について確認するため、打合せを実施。	オンライン	3/14	1	2	11	—	—	産業経済部	産業振興課
8		文教大学	—	パークミーティング	—	—	桜花亭主催の地域の会議。	対面	7/6、10/28、2/15	3	—	61	—	—	政策経営部広報室	シティプロモーション課
9			—	花畑地域まちづくり協議会	—	青木勉法人事務局長兼総務部長	花畑地域のまちづくりに関する地域の会議。	対面	9/7、2/10、11/17	3	—	96	—	—	政策経営部広報室	シティプロモーション課
10			—	経済活性化会議	経営学部経営学科	鈴木誠教授	足立区経済活性化基本条例第8条に基づき設置される区長の附属機関。経済活性化基本計画に関する調査・審議を行う。	書面、対面	5月、1/26	2	12	21	—	5月については書面開催。	産業経済部	産業政策課
11		六大学	—	学長会議・実務者会議	—	—	学長会議では区長と学長が集まり意見交換を行う。各大学の実務者と区で情報共有を行う。	オンライン	8/25、6/25、11/16、3/10	4	—	137	—	—	政策経営部広報室	シティプロモーション課
12		放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学	—	水害時避難所派遣職員現地確認及び職員顔合わせ	事務センター/エンロールメント・マネジメント部/会計課施設係	藤原修事務長/大磯貴晃氏/岩木淳治主任	水害時避難所として円滑な開設・運営ができるよう、水害時避難所派遣職員による利用可能エリアや備蓄等の確認を行うと共に、大学担当者との顔合わせや発災時等の連絡方法を確認。	対面	8/10、8/30、8/31	4	—	30	—	放送大学は顔合わせ未実施。	危機管理部総合防災対策室	災害対策課
13		帝京科学大学、東京未来大学	—	教育利用研究会	こども学部幼児保育学科/こども心理学部	木場有紀准教授/小林祐一准教授/高橋文子准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	7/3、12/7、10/15、8/27	4	—	28	—	会場は生物園だが、一部委員はオンラインで参加。	みどり公園推進室	公園管理課

令和3年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加者数	大学への支払額	備考	部・室	課	
1	調査研究	東京未来大学	—	冒険あそびに関する共同研究	こども心理学部	横畑泰希准教授	公園あそび(冒険あそび)にて、こどもたちの心理や行動における変化、スタッフの関わり方と子どもの変化の関係について共同研究を行う。また、プレイヤー養成に関する指導も依頼する。	対面	1/22	1	—	4	—	—	みどり公園推進室	公園管理課	
2		文教大学	小中学生	特別支援教育における研究交流事業	教育学部	小野里美帆教授	研究交流事業として、研究学生受入校を募集。教授による支援を要する児童(受入校1校につき1人)の行動観察・助言指導及び研究学生による週1回の支援。受入校との合同会議、全小中学校教員等を対象に報告会を実施。	対面	7~2月	69	2校	69	—	—	子ども家庭支援センターげんき	支援管理課	
3		帝京科学大学、東京未来大学、文教大学	—	発達障がい学生支援に関する調査	各大学の学生を支援する部署	—	—	大学全体の基本情報・学生支援にあつている部署に関する内容についてアンケート。訪問し、学生支援の実態・支援に関する課題・区との連携等について担当スタッフから話をうかがう。区内大学の発達障がい学生支援の実態や学生支援に関する課題・ニーズを把握・整理し大学と区との協働・協創により発達障がい者の切れ目ない支援に向けた連携体制を構築すること。これまでいくつかの事業を施行してきたが継続実施には至らなかったことを踏まえ、当センターの思いのみではなく、正確に大学の現状・ニーズを把握したうえで連携する必要性を強く感じたことから調査実施に至った。	対面	8/10、9/8	—	—	6	—	大学連携担当を通じて、事前に各大学に訪問受入れを打診後、大学を訪問し調査趣旨説明と協力依頼を行った。調査は①紙面によるアンケート②訪問インタビュー。	福祉部障がい福祉推進室	障がい福祉センター
4	配布協力	六大学	大学生	「スクールアシスタント募集」チラシ配布の協力	—	—	スクールアシスタント募集のチラシを区内六大学に配布し、事業周知をすることで、スクールアシスタントの充実を図る。	—	7/16	1	—	—	—	—	子ども家庭支援センターげんき	支援管理課	
5				オウム真理教勧誘防止チラシ配付の協力	—	—	新入生を対象にオウム真理教についての注意喚起チラシを配付し、若い世代の入信を防止する。	—	3/14	1	—	—	—	—	危機管理部	危機管理課	
6				「若者向け相談事例集の配布」の協力	—	—	令和4年4月1日に成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることから、若者向けの相談事例集を作成した。作成物について、各大学に配布の協力を依頼。	—	3/11、3/15	1	—	—	—	—	配布は六大学合わせて4,700部 なお、実施日の二日は各大学への配布日である。	産業経済部	産業政策課
7				「地球にやさしいひとのまち」ポスターコンクール応募チラシの配布	—	—	区民が環境問題について考えながらポスターを作成することにより、環境問題に対する知識や理解を深めてもらい、その啓発を目的とした事業。小・中学生だけでなく一般からも募集しているため、大学生に周知するため配付を依頼。	—	8月~10月(募集期間)	1	—	—	—	—	—	環境部	環境政策課
8			全区民	区拉致問題啓発ポスターの配布の協力	—	—	拉致問題をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題について、区民をはじめ区内の大学生にも理解を深めてもらうため配布し、掲示を依頼。	—	9/17	1	—	—	—	—	総務部	総務課	
9	実習生受入	帝京科学大学	—	スクールソーシャルワーカー実習生受け入れ	医療科学部医療福祉学科	—	スクールソーシャルワーカー実習生の受け入れ。	対面	6/1、6/3、6/4、6/8	1	1	4	—	—	子ども家庭部	教育相談課	
10		文教大学	—	臨床心理実習	人間科学研究科臨床心理学専攻	—	大学院生3名をチャレンジ学級での実習生として受け入れ。	対面	6月~3月	37	—	111	—	—	子ども家庭部	教育相談課	
11		東京未来大学、文教大学	大学生	心理実習	子ども心理学部子ども心理学科心理専攻、人間科学部臨床心理学科	—	東京未来大学9名、文教大学生7名をこども支援センターげんきの見学実習生として受け入れ。事業概要を説明。	対面	6/16	1	—	16	—	—	子ども家庭部	教育相談課	
12	会場提供	東京電機大学	全区民	新型コロナウイルスワクチン接種	—	—	新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐために、医師会等と連携しながら、ワクチン接種を円滑に進めるための体制を構築。	対面	10月(月・火曜日を除く毎日)、及び11月12~14日・17~21日	約14,000	498人/日【予約枠数】	—	—	—	衛生部	新型コロナウイルスワクチン接種担当課	
13	補助金	東京電機大学	—	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	研究推進社会連携センター	—	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設置し、運営費を区が補助。	—	通年	1	—	—	26,573,000	—	産業経済部	企業経営支援課	

⑥ 研究調査等 東京未来大学・帝京科学大学・東京電機大学・文教大学・複数大学